

MiYAGOSTINI



腎機能に注意が必要な薬剤⑦ OTC (一般用医薬品)

こんにちは！『MiYAGOSTINI (ミヤゴスティーニ)』第7弾です！
 今回のテーマはドラッグストアで購入できる一般用医薬品です。一般用医薬品でも腎機能に注意すべき薬を改めておさらいしてみませんか？腎機能を確認する最初の一步として、MiYAGOSTINIをぜひご利用ください！

バックナンバーこちら

添付文書に腎臓病等注意記載がある代表的な一般用医薬品

| 一般用医薬品 | 用法用量 | してはいけないこと | 相談すること |
|--------------|--|---------------------|----------------|
| ロキソニンS錠 | 1回1錠(無水物として60mg)1日2回まで (有症状は3回目服用可/4時間以上間隔をあける) | 腎臓病の治療を受けている人 | 腎臓病にかかったことがある人 |
| 酸化マグネシウムE便秘薬 | 6錠中 酸化マグネシウム2000mg含有 15歳以上：1回 3~6錠 1日1回就寝前(又は空腹時) | | 腎臓病の診断を受けた人 |
| ガスター 10 | 1回1錠(10mg)1日2回まで (8時間経過後症状あれば1錠追加服用) | 腎臓の治療や医薬品の投与を受けている人 | |

今回は3例のみですが、他にも第一類医薬品だけで97医薬品に腎臓病関連の注意記載がなされています。

(腎臓病関連の記載のみ抜粋)

<参考資料>

CKDシール **黄色**

CKDシール **赤色**

| 医療用医薬品 | GFRまたはCCr (mL/min) | | | | | | 透析 |
|----------|--|----|-----------------------------|----|------------------------------|----|----------------------------|
| | 60 | 50 | 40 | 30 | 20 | 10 | |
| ロキソニン | 消炎・鎮痛(※1)：1回1錠(60mg)1日3回 頓服は1回60~120mg | | 腎障害高リスク患者(※2) には漫然と投与しない | | 禁忌 (腎障害悪化の恐れあり) | | 禁忌(腎機能廃絶患者は減量不要) |
| 酸化マグネシウム | ・緩下剤：1日2g分3食前か食後、又は分1就寝前 (制酸剤・尿路尿酸Ca結石の発生予防：添付文書参照) | | 慎重投与(高マグネシウム血症の恐れあり) | | | | |
| ガスター | 1回20mg1日2回 | | 1回20mg1日1回 /1回10mg1日2回 | | 1回20mg2~3日に1回 /1回10mg1日1回 | | 1回20mg透析後1回 /1回10mg1日1回 |

※1：関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、歯痛、手術後、外傷後並びに抜歯後の鎮痛・消炎

※2：高齢者、高血圧患者、糖尿病患者、心不全患者、利尿薬併用症例

詳細

・ロキソニンS：腎動脈の収縮による腎血流の減少により腎障害を起こしうるため、腎臓病の治療を受けている人への販売は避ける。アセトアミノフェンへの変更を推奨する。

・酸化マグネシウムE便秘薬：平成24年から3年間で酸化マグネシウムによる高Mg血症が29例報告されている。高Mg血症の初期症状(悪心・嘔吐、徐脈、筋力低下、傾眠等)が発現した場合は服用を中止するよう指導。酸化マグネシウム含有のOTCは多数販売されているため注意が必要。

・ガスター10：腎機能低下患者は血中未変化体濃度が上昇することで汎血球減少や精神疾患の副作用が現れやすくなる。他剤への変更や受診勧奨を検討する。

指導時のワンポイント！

- 上記薬剤の購入検討あれば
- ①服用する方は誰か(年齢等)
 - ②腎臓病の有無を確認
 - ③他剤への変更が可能か検討

編集後記

新年度が始まり、当院にも新人薬剤師が入職しました！新人さんにも読んでいただきたいという思いを込めて、バックナンバーのQRコードを載せてみました。ぜひ閲覧してください。(富士宮市立病院 A.Y)